

## 蒐集衆商 2017年開催概要

名称： spiral take art collection 2017 「蒐集衆商」

会期： [前期] 2017年12月15日(金)～18日(月) 11:00-20:00

[後期] 2017年12月20日(水)～25日(月) 11:00-20:00

会場： スパイラルガーデン(スパイラル1F) 〒107-0062 東京都港区南青山 5-6-23 入場無料

主催： 株式会社ワコールアートセンター

企画制作：スパイラル

会場構成：小林恭+マナ(設計事務所 ima)

グラフィックデザイン：田部井美奈

2017年の公式ウェブサイト：<http://www.spiral.co.jp/takeart/2017/>

### 《ギャラリーエリア》

#### ○スパイラルガーデン(ギャラリー)



#### ○スパイラルガーデン(エスプラナード)



### 【蒐集衆商2017 出展ギャラリー】

赤々舎

hpgrp GALLERY

ex-chamber museum

エディション・ワークス

MA2Gallery、キドプレス

GALLERY小暮

GALLERY 360°

gallery MARUHI

GEN-SCH-AN [Röntgenwerke AG

+ IKEUCHI FINE ARTS CO., LTD]

SUICHIKUDO-gallery

Satelites ART LAB.

t.Gallery

鳩ノ森美術

ボヘミアンズ・ギルド

MORITAKA

ロイドワークスギャラリー

## 《セレクトーエリア》

○スパイラルガーデン (アトリウム)



### 【出展作家一覧】

Aokid、青木暲、青田真也、秋山さやか、イェンニ・ロベ、イケムラレイコ、石井隆寛、石川竜一、石本藤雄、泉イネ、伊藤航、イリ・ゲラー、入江明日香、ウイスット・ボンニミット、植松永次、宇川直宏、ウチダリナ、榮水亜樹、EKKO、大竹伸朗、大竹亮峯、大森浩平、尾角典子、小野川直樹、オノデラユキ、オノ・ヨーコ、カールステン・ニコライ、鹿兒島睦、片山真理、金沢百枝+佐藤祐子、上出恵悟、上出長右衛門齋、川内理香子、川久保ジョイ、川俣正、キキ・スミス、国松希根太、久野彩子、熊谷彰博、栗棟美里、黒田泰蔵、工芸青花、郷古隆洋、小金沢健人、conix、小林正人、小松宏誠、近藤亜樹、佐乃乃梨子、佐藤亜土、三川義久、常信明子、ジャウメ・ブレンサ、シュンスケ・フランソワ・ナンジョウ、菅井汲、鈴木貴雄、諏訪敦、曾谷朝絵、関根伸夫、高崎紗弥香、高松明日香、瀧本幹也、谷山恭子、津上みゆき、土田泰子、鶴友那、遠山由美、徳重秀樹、中村弘峰、蓮沼昌弘、早野恵美、葉山有樹、東恩納裕一、日高理恵子、日比淳史、堀浩哉、堀江佳世、マシュー・バーニー、町田久美、マッティ・ピックヤムサ、松林誠、三沢厚彦、三瀬夏之介、南花奈、宮本承司、村上仁美、森万里子、盛合とうこ、森村泰昌、安田ジョージ、山内悠、山口藍、山口英紀、山本考志 (HOW TO WRAP\_)、吉野祥太郎、吉原治良、若林奮 ほか

## 【セクター】

### ブライアン・フィー Brian Fee VOLTAアートフェア コミュニケーション・マネージャー、ギャラリートレーナー

ニューヨーク・ブルックリンを拠点におくライター、アトリサーチャー。国際チームともにニューヨークとバーゼルで開催されるアートフェアVOLTAを共催する。VOLTAでは、日本のみならず世界中の現代アートのアーティストやギャラリーを紹介、その発展に貢献する。その他、ダブドフアート・イニシアティブと共同して、カリブ海諸国のアーティストを支援するためのアート・レジデンシープログラムにも携わる。

### エレヌ・ケルマシュター Hélène Kelmachter キュレーター、アンスティチュ・フランセアルゼンチン 文化プログラム主任

ニューヨーク・ブルックリンを拠点におくライター、アトリサーチャー。国際チームとともにニューヨークとバーゼルで開催されるアートフェアVOLTAを共催する。VOLTAでは、日本のみならず世界中の現代アートのアーティストやギャラリーを紹介、その発展に貢献する。その他、ダブドフアート・イニシアティブと共同して、カリブ海諸国のアーティストを支援するためのアート・レジデンシープログラムにも携わる。

### ユッカ・サヴォライネン Jukka Savolainen ヘルシンキ デザイン・ミュージアム 館長

ニューヨークのマテリアルコネクションでリサーチ&インフォメーションディレクターや、デザイン・ミュージアムの副館長および展覧会キュレーターを務めるなど、美術館やデザイン分野でキャリアを積む。スコットランドのセントアンドリュース大学で美術史を学び、現代デザインから国のデザイン政策やデザインによる政策決定まで、その研究対象は広範囲に及ぶ。フィンランドのデザインや国際的デザイン・トレンドに関する多くの書物の執筆や、フィンランドのデザインに関する書籍の編集を手掛けるほか、デザイン関連イベントやビジネスコンサルタントも務める。

### 菅野康晴 『工芸青花』編集長

編集者。1968年栃木県生れ。早稲田大学第一文学部卒業後、1993年新潮社入社。『芸術新潮』および「とんぼの本」シリーズの編集部在籍し、美術・工芸を主に多くの企画を手がける。担当した本に、川瀬敏郎『一日一花』、坂田和實『ひとりよがりのものさし』、中村好文『住宅読本』、金沢百枝・小澤実『イタリア古寺巡礼』、赤木明登・智子『うちの食器棚』、木村宗慎『利休入門』、三谷龍二『「生活工芸」の時代』など。2014年、骨董・工芸・建築等を紹介する雑誌『工芸青花』創刊（年3回刊）。

### 木田隆子 エル・デコ ブランドディレクター

ファッション誌やライフスタイル男性誌の創刊にかかわり、その編集長に就いたのち、2005年12月より『エル・デコ』編集長に就任。2014年7月より現職。『エル・デコ』がオフィシャルメディアパートナーをつとめる「ジャパンクリエイティブ」のディレクターも兼務。

### 住吉智恵 アートプロデューサー、ライター

東京生まれ。慶応義塾大学文学部美学美術史学専攻卒業。1997年より美術ジャーナリストとして活動。オルタナティブスペース「TRAUMARIS」主宰を経て現在各所で現代美術とパフォーミングアーツの企画を手がける。2011～2016年、横浜ダンスコレクション/コンペ2審査員。子育て世代のアーティストとオーディエンスを応援するプラットフォーム「ダンス保育園! 実行委員会」代表。

### 遠山正道 株式会社スマイルズ 代表取締役社長

1962年東京都生まれ。慶応義塾大学商学部卒業後、1985年三菱商事株式会社入社。2000年株式会社スマイルズを設立、代表取締役社長に就任。現在、「Soup Stock Tokyo」のほか、ネクタイ専門店「giraffe」、セレクトリサイクルショップ「PASS THE BATON」、ファミリーレストラン「100本のスプーン」、コンテナラーフード&リカー「PAVILION」、海苔弁専門店「刷毛じょうゆ 海苔弁山登り」を展開。「生活価値の拡充」を企業理念に掲げ、既成概念や業界の枠にとらわれず、現代の新しい生活の在り方を提案している。近著に「成功することを決めた」（新潮文庫）、『やりたいことをやるビジネスモデル-PASS THE BATONの軌跡』（弘文堂）がある。

### 小林マナ 空間デザイナー

夫の小林恭とともに設計事務所ima（イマ）を営む。店舗設計をメインに住宅建築設計、展覧会の会場構成やプロダクトデザインなどを手掛ける。最近の作品に、LAPUAN KANKURIT二子玉川店、インテリアライフスタイル展2017の会場構成など。蒐集家商では、会場構成も手掛ける。

### 塩見有子 アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト] ディレクター

東京生まれ。学習院大学法学部政治学科卒業後、イギリスのサザビーズインスティテュートオブアーツにて現代美術ディプロマコースを修了。2002年、NPO法人AITを立ち上げ、代表に就任。AITでは、アーティストやキュレーター、ライターのためのレジデンス・プログラムや現代アートの教育プログラムMADを始動させたほか、メルセデス・ベンツ日本 やマネックス証券、ドイツ銀行、日産自動車などの企業との連携事業を含む、企画やマネジメントを行う。

### 皆川明 minä perhonen デザイナー

1967年東京生まれ。1995年に自身のファッションブランド「minä（2003年より minä perhonen）」を設立。時の経過により色あせることのないデザインを目指し、想像を込めたオリジナルデザインの生地による服作りを進めながら、インテリアファブリックや家具、陶磁器など暮らしに寄り添うデザインへと活動を広げている。また、デンマークKvadrat、スウェーデンKLIPPANなどのテキスタイルブランド、陶磁器ブランドRichard Ginoriへのデザイン提供や、東京スカイツリーをはじめとするユニフォームデザイン、新聞小説の挿画なども手掛ける。